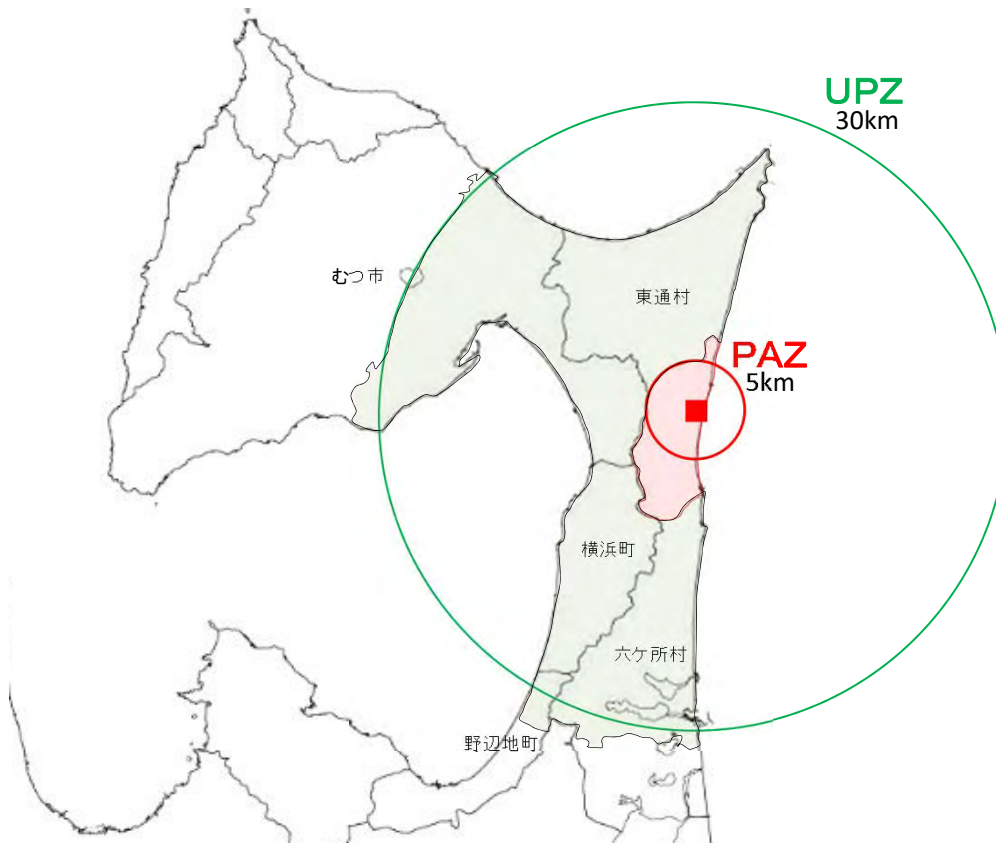


ひがしどおり
東通地域の検討状況(概要)

令和2年3月3日
内閣府(原子力防災担当)

東通地域原子力災害対策重点区域の概要

- 青森県地域防災計画では、原子力災害対策指針に示されている「原子力災害対策重点区域」として、発電所より概ね5kmを目安とするPAZ内、発電所より概ね5～30kmを目安とするUPZ内の対象地区名を明らかにしている。
- 東通地域における原子力災害対策重点区域は、PAZ内は東通村、UPZ内は東通村、むつ市、野辺地町、横浜町、六ヶ所村の1市2町2村にまたがる。



<概ね5km圏内>

PAZ (予防的防護措置を準備する区域) :
Precautionary Action Zone

⇒ 急速に進展する事故を想定し、放射性物質が放出される前の段階から予防的に避難等を実施する区域

1村 (東通村) 住民数 : 2,701人※

<概ね5～30km圏内>

UPZ (緊急防護措置を準備する区域) :
Urgent Protective Action Planning Zone

⇒ 事故が拡大する可能性を踏まえ、屋内退避や避難等を準備する区域

1市2町2村 (青森県東通村、むつ市、野辺地町、横浜町、六ヶ所村)
住民数 : 65,334人※

※人口 : 平成30年12月1日

原子力災害対策重点区域周辺の人口分布

➤ PAZ内人口は2,701人、UPZ内人口は65,334人、原子力災害対策重点区域内の人口は合計で68,035人※。

関係市町村名	PAZ内 (概ね5km圏内)		UPZ内 (概ね5～30km圏内)		合 計	
	ひがしどおりむら 東通村	2,701 人	1,225 世帯	3,783 人	1,615 世帯	6,484 人
むつ市			49,902 人	25,031 世帯	49,902 人	25,031 世帯
のへしまち 野辺地町			36 人	24 世帯	36 人	24 世帯
よこはままち 横浜町			4,566 人	2,102 世帯	4,566 人	2,102 世帯
ろっかしよむら 六ヶ所村			7,047 人	3,424 世帯	7,047 人	3,424 世帯
合 計	2,701 人	1,225 世帯	65,334 人	32,196 世帯	68,035 人	33,421 世帯

※ 人口調査時点:平成30年12月1日

各市町村の避難計画策定状況

- 平成28年3月に青森県が取りまとめた「東通原子力発電所の原子力災害時における広域避難の基本的な考え方」を踏まえ、各市町村は避難計画を修正※¹。

	策定状況	計画名
ひがしどおりむら 東通村	平成30年2月修正 (平成26年3月策定)	「東通村避難計画 原子力編」
むつ市	平成29年7月修正 (平成26年3月策定)	「むつ市原子力災害避難計画」
のへじまち 野辺地町	平成31年3月修正 (平成26年3月策定)	「野辺地町原子力災害住民避難計画」
よこはままち 横浜町	平成29年3月修正 (平成26年4月策定)	「横浜町避難計画(原子力編)」
ろっかしよむら 六ヶ所村	平成28年11月修正 (平成26年4月策定)	「六ヶ所村避難計画(原子力編)」※ ²

※¹ 野辺地町は対象住民全員が町内避難する計画

※² 現時点では東通原子力発電所のみ対象

1. PAZ、UPZ全域が半島部に位置し、陸路避難経路が限定されている。

これに関連し、人口の多いむつ市では基本避難経路の一部に海路を設定している。

① 大間港→函館港→青森港（約3,700人）

② 脇野沢港→青森港等（約6,000人）

（むつ市のUPZ人口約5万人のうち、海路避難対象(①+②)は約1万人※)

2. PAZ・UPZの人口が全国の原発立地地域中で最少(合計約6.8万人)

3. 東通原子力発電所のUPZ内に核燃料関係施設も複数存在。

重点区域が設定されているのは、東通原子力発電所のほかに、日本原燃が所有する

① 再処理工場(六ヶ所村) : PAZなし、UPZ 5km

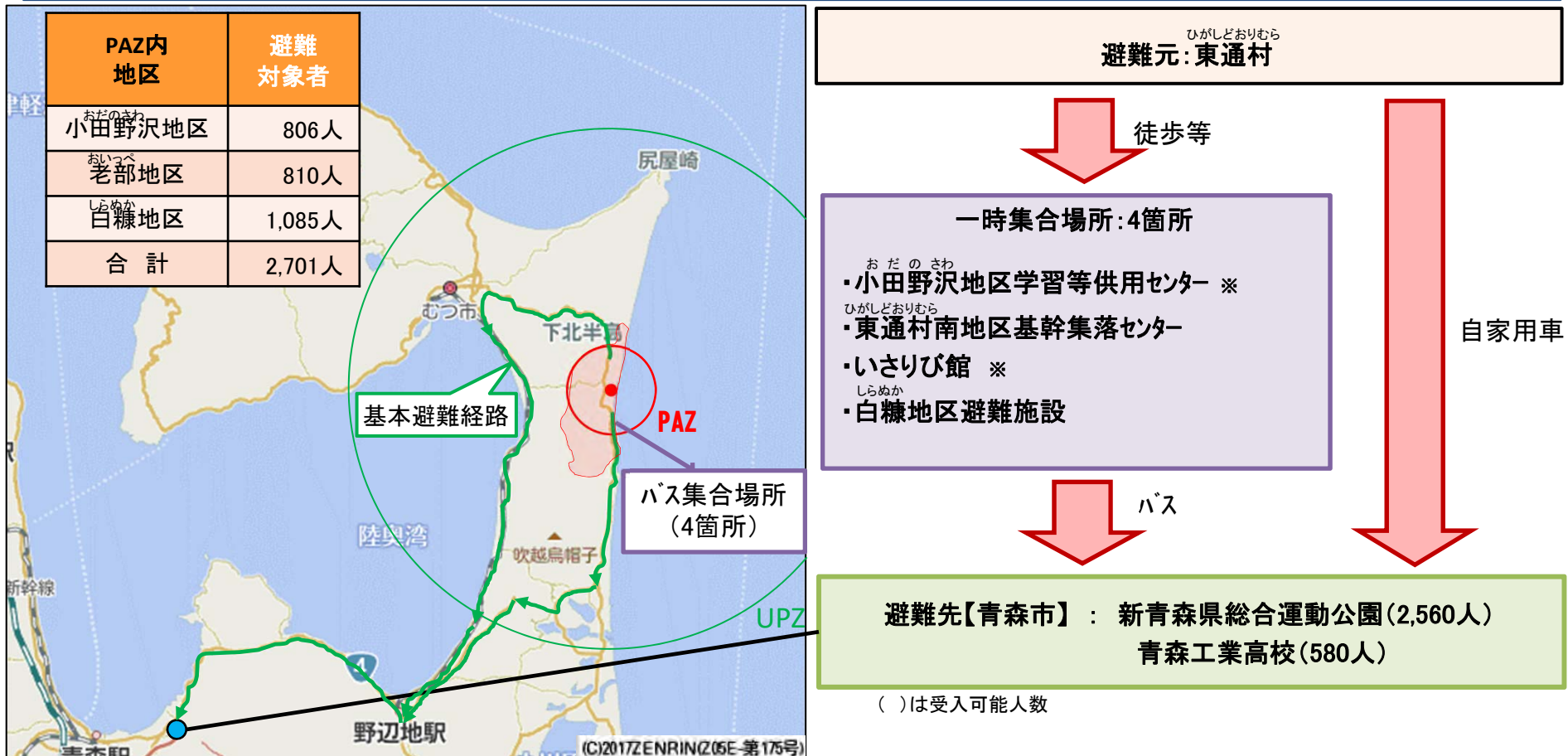
② MOX燃料工場(六ヶ所村) : PAZなし、UPZ 1km

がある。

※ 海路避難対象人数は平成28年12月1日時点

東通村におけるPAZ内の住民の避難先

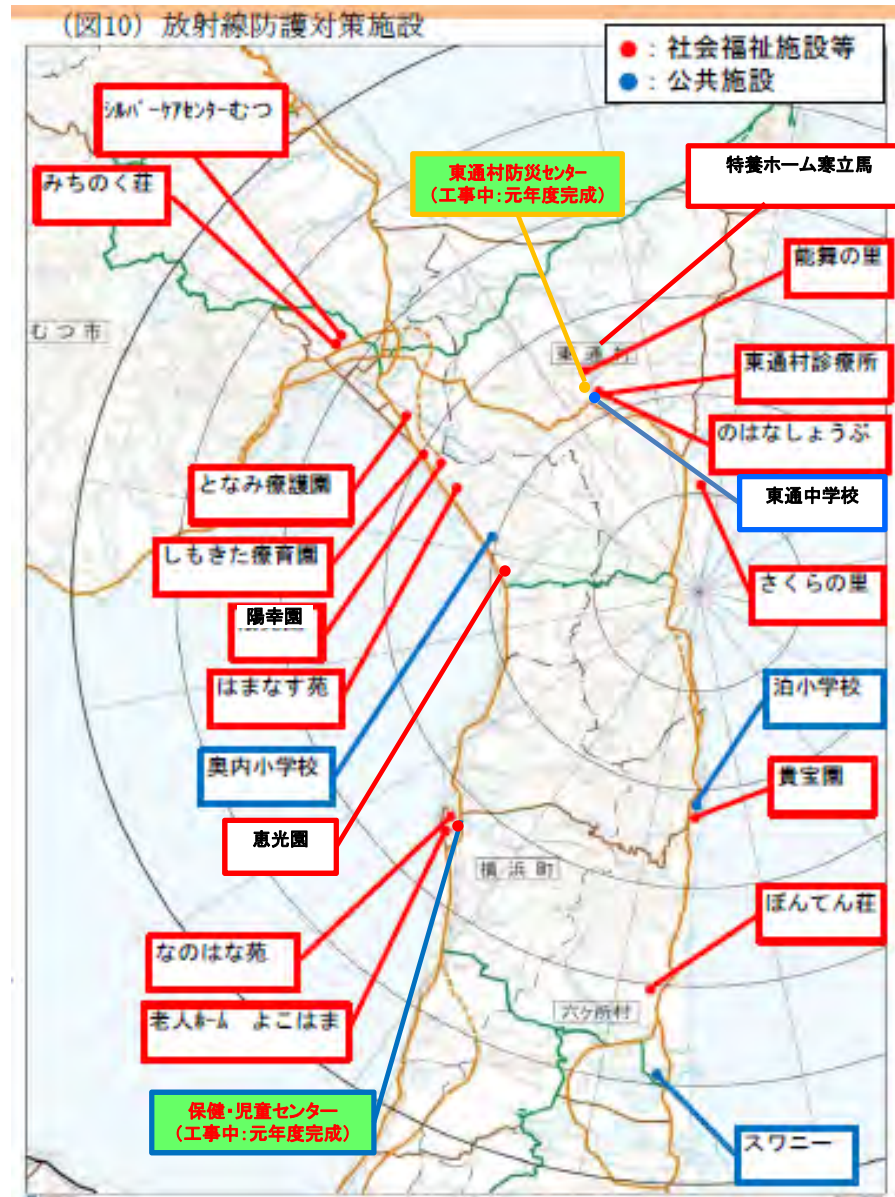
- 東通村のPAZ内(小田野沢地区、老部地区、白糠地区)の住民については、自家用車で避難できる住民は、自家用車によりあらかじめ定められた青森市の避難先(新青森県総合運動公園又は青森工業高校)に避難。
- 自家用車での避難が困難な住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、青森県が手配したバスで避難先へ避難。
- 避難先については、村の広報誌や訓練等を通じて対象となる住民に周知。



※ 津波警報の発令中は使用せず、小田野沢地区は「東京電力新小田野沢寮敷地」に変更し、白糠地区は「白糠地区避難施設」に集約

放射線防護対策施設の状況

種別	所在地	施設名称
要支援者施設 計21施設 (うち、 工事中 1施設 設計中 1施設)	東通村	6施設(寒立馬、能舞の里、東通村診療所、のはなしょうぶ、さくらの里、東通中学校)
	むつ市	8施設(シルバーケアセンターむつ、みちのく荘、となみ療護園、しもきた療育園、陽幸園、はまなす苑、恵光園、奥内小学校)
	横浜町	2施設(なのはな苑、老人ホームよこはま) 1施設工事中(保健・児童センター)
	六ヶ所村	4施設(貴宝園、ぼんてん荘、泊小学校、スワニー)
防災拠点	東通村	1施設(東通村防災センター)



※1 東通村の「さくらの里」を除き、いずれもUPZに所在する放射線防護対策施設
 ※2 PAZに学校や医療機関はなく、入所福祉施設が2か所ある

UPZ内住民の避難先

- UPZ住民は、特定された避難先に移転する。また、避難先受入可能人数は、それぞれ避難元の人数を上回る。

